



414
A 491



今般正院中勘査局ヲ置レ大蔵省ヨリ上進スル所
 ノ精算豫算ノ計表ヲ把リ更ニ各廳ヨリ箇々ノ表目
 ヲ録呈セシメ彼此照査シテ其著明ヲ極メラルノ上目
 ヲ敬承ス然ルニ會計理財ノ要務タル全國一切ノ出
 入ヲ管理シ終歲巨萬ノ聚散ヲ調査スルハ素ヨリ大
 蔵卿ノ責任ニシテ其方法ニ於ル容歲年度改正ノ
 一舉ニ漸ク鎮密ニシテ計算始メテ確實ナルニ庶希カラン
 トス如何トナレハ其豫算精算ヲ調査スルマ必ラス一官省一
 府縣ニ質シ而シテ實際踐行ノ報告ヲ要シ纖細瑣尾
 ノ件ト雖モ聊カ遺漏失誤ナク決算完結ニ至ラシムル
 ノ順序タレヲ以テナリ 就高 自ラ其著實適當ノ法ヲ
 ルヲ信ス若シ夫レ未タ盡サハ有リトシテ或ハ一塊

大正
天
限
侯
十
一
月
贈



ノ疑團ヲ抱クモノアラハ速ニ反覆一詳シテ之ヲ為ノニ
解セントス而シテ今然ラス百般計務ニ屬スルノ事件ハ
依然改正ノ規則ニ憑據シ奉テ之ヲ大蔵省ニ委任
セラレ又別ニ由査ノ一局ヲ置レテ均シク精算豫算ノ計
表ヲ調理シ具存共立ヲ為サシムルニ是レ勢ノ行ハレザル
モノニシテ行政上淹滞亦省ノ支障ヲ生スルヤ思フハ必セ
リ茲、於テ深思考画敷スルニ該局ハ只大蔵省ヨリ調査録
呈スル所ノ件々ニ付各廳事務ヲ緩急ト當否トヲ高
議セラレ、ヲ以テ允當トス可シ然レニ同局ノ職制大蔵省ノ
事務ト相對時スルノ景状ヲナスニ至テハ所謂各廳ノ計簿
ナルモノ一ハ以テ大蔵省ニ送致シ一ハ以テ正院ニ上呈センムルカ
如キ均シク量為ノ財務ニ関スルモノニシテ甲ハ政府ノ由査局
タリ乙ハ政府ノ大蔵省タリ其繁冗タル言ヲ待タス此

ノ如ク一事兩岐ニ亘ルトキハ各廳ノ証ヲトル孰レニ依テ
然ル可キカ是カ為メ往々迷疑ヲ生シ竟ニ齟齬扞格ノ
患ヲ醸成スルニ至ラン今ヤ量為ノ方法確定シ凡百ノ
經費裁制ノ際ニ當リ此ノ益ナキノ冗官ヲ設置セラレ
ハ深ク了解ナシ難キ所ナリ抑庶謨ノ存スル所敢テ窺
測ス可ラスト雖モ一言以テ陳述セザルヲ得ス仍テ妄リニ
微哀ヲ吐露シ謹テ高裁ヲ仰望ス 就高 再拜

明治八年十月廿日

検査頭安藤就高

大隈大蔵卿閣下

